



資料 4

# 社会教育施設について

# 1 社会教育施設の概要

## 2 県立の博物館・美術館における課題

# 社会教育施設とは

## 教育基本法

(社会教育)

第十二条 個人の要望や社会の要請にこたえ、**社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。**

2 国及び地方公共団体は、**図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設**の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

## 社会教育法

(社会教育の定義)

第二条 この法律において「社会教育」とは、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）に基づき、**学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）**をいう。

# 県立社会教育施設の概要

## < 図書館 >

- 県立図書館
- 川崎図書館

## < 博物館・美術館 >

- 金沢文庫
- 近代美術館（葉山館、鎌倉別館）
- 歴史博物館
- 生命の星・地球博物館

# 県立図書館

～人文・社会系の  
リサーチライブラリー～

図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的としている。

人文・社会科学系の専門的資料の収集・提供が中心。

現在、県立図書館の再整備を行っており、令和9年度中に前川國男館の供用を開始する予定。



## < 基礎情報 >

開館	: 昭和29年 (1954年)
収集資料	: 人文・社会系
収蔵資料数 (R7.4.30時点)	
図書	: 987,207点
雑誌	: 8,705タイトル
視聴覚資料	: 113,804点

## < R6年度実績 >

入館者数	: 249,408人
貸出冊数	: 79,315冊
講座開設	: 59回
講座受講者	: 1,499人

# 川崎図書館

～ものづくり情報ライブラリー～

自然科学及び工業に関する図書並びに一般図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的としている。

自然科学、工学及び産業資料等の専門的資料の収集・提供が中心。



## <基礎情報>

開館	: 昭和33年 (1958年)
収集資料	: 自然科学、工業、産業系
収蔵資料数 (R7.4.30時点)	
図書	: 258,829点
雑誌	: 8,063タイトル
視聴覚資料	: 591点

## <R6年度実績>

入館者数	: 99,938人
貸出冊数	: 20,131冊
講座開設	: 16回
講座受講者	: 810人

# 金沢文庫

～金沢北条氏創設の「金沢文庫」に  
起源をもつ歴史博物館～

史跡金沢文庫に保管されていた古文書  
その他の文化財及び中世における歴史、  
芸術等の人文科学に関する資料の収集、  
保管、展示等を行い、県民の知識及び教  
養の向上を図るとともに、これらの資料  
に関する調査研究を行うことを目的とし  
ている。

国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」等  
を所蔵している。



## < 基礎情報 >

開館	: 昭和 5 年 (1930年)
収集資料	: 中世歴史
収蔵資料数 (R7.4.30時点)	
資料	: 25,899点
図書	: 85,974冊
逐次刊行物	: 2,037タイトル

## < R6年度実績 >

入館者数	: 38,953人
講座開設	: 82回
講座受講者	: 3,797人

# 近代美術館（葉山館、鎌倉別館）

～日本で最初の公立近代美術館～

近代美術品の収集、保管及び展示並びに絵画、彫刻等に関する講習会等を行い、県民の近現代美術に対する知識及び教養の向上を図ることを目的としている。

2016年度からは、葉山館、鎌倉別館の二つの建物で運営している。



葉山館(c)山本糾



鎌倉別館(c)BAUHAUSNEO

## < 基礎情報 >

開館	: 昭和26年（1951年）
収集資料	: 近現代美術
収蔵資料数（R7.4.30時点）	
資料	: 16,274点
図書	: 111,175冊
逐次刊行物	: 2,936タイトル

## < R6年度実績 >

入館者数	: 49,924人
講座開設	: 40回
講座受講者	: 1,106人

# 歴史博物館

～かながわの文化と歴史を  
総合的に扱う博物館～

神奈川県文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援することを目的としている。

旧県立博物館の人文科学系部門を母体に、1995年（平成7年）3月に開館。

建物の旧館部分は国指定の重要文化財。

現在、改修工事のため令和8年9月（予定）まで休館中。



## < 基礎情報 >

開館	: 平成7年（1995年）
収集資料	: かながわの文化と歴史
収蔵資料数（R7.4.30時点）	
資料	: 72,814点
図書	: 47,351冊
逐次刊行物	: 2,620タイトル

## < R6年度実績 >

入館者数	: 111,713人
講座開設	: 85回
講座受講者	: 4,411人

# 生命の星・地球博物館

～地球の歴史と生命の多様性を  
考える自然史博物館～

地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動に資することを目的としている。

旧県立博物館の自然科学系部門を母体に、1995年（平成7年）3月に開館。

今年度、展示の一部更新に向けて、展示のあり方の検討を行っている。



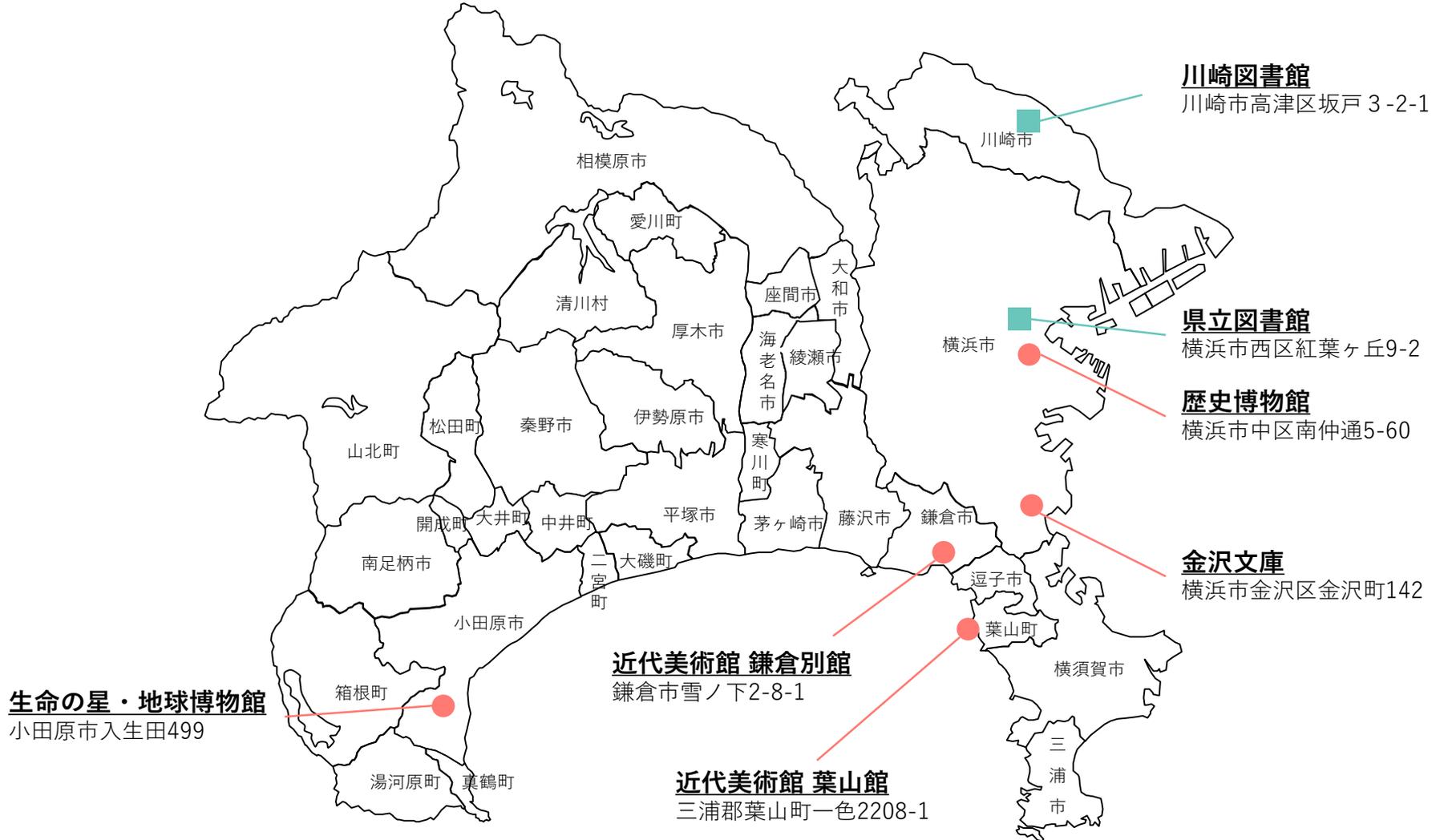
## < 基礎情報 >

開館	: 平成7年（1995年）
収集資料	: 自然科学系
収蔵資料数（R7.4.30時点）	
資料	: 1,250,732点
図書	: 38,360冊
逐次刊行物	: 4,139タイトル

## < R6年度実績 >

入館者数	: 271,143人
講座開設	: 74回
講座受講者	: 3,263人

# 県立社会教育施設位置図



1 社会教育施設の概要

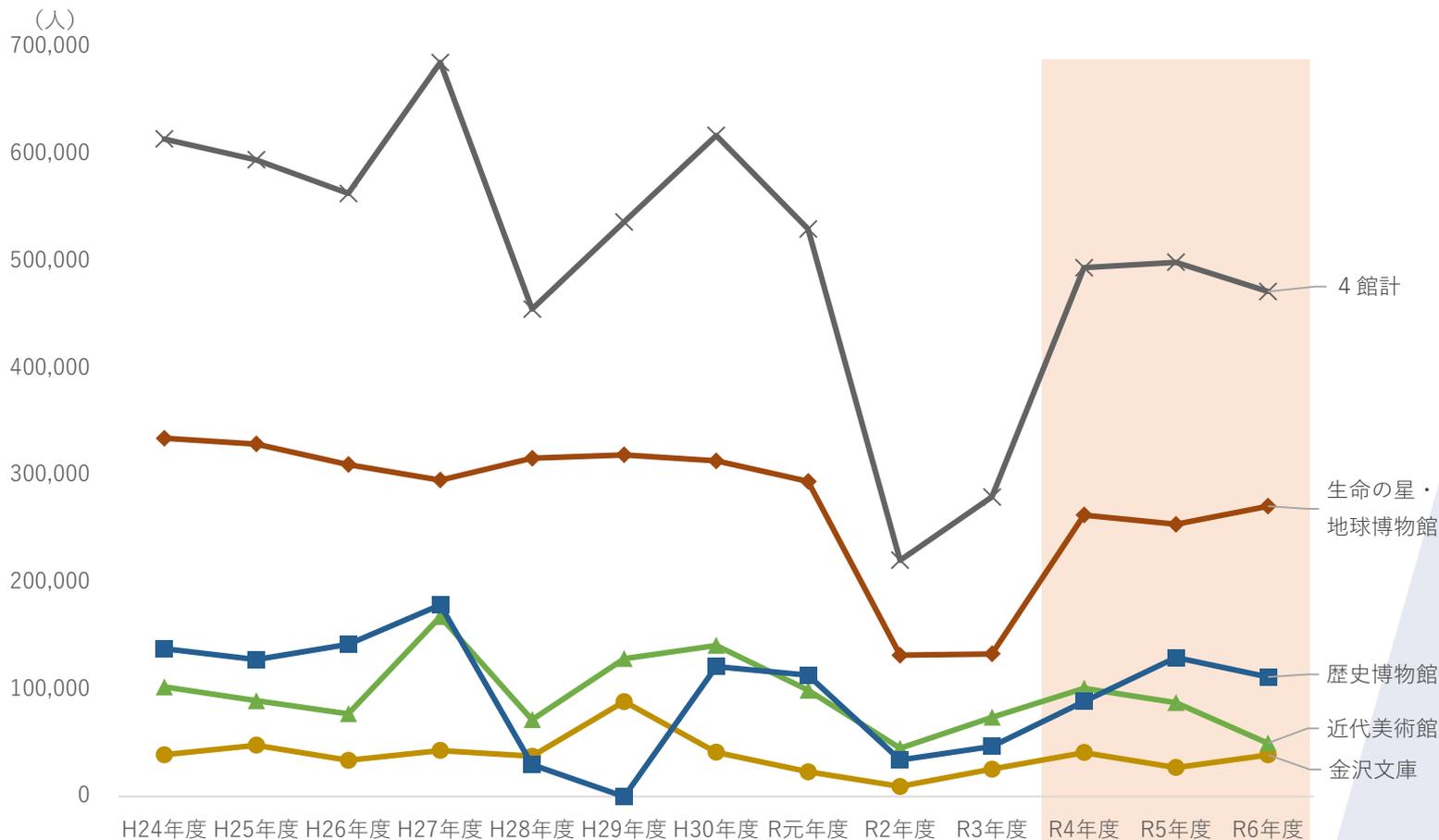
**2 県立の博物館・美術館における課題**

# 主な課題

- 1 来館者数の伸び悩み
- 2 施設・設備の老朽化
- 3 収蔵スペースの狭隘化
- 4 デジタル技術への対応

# 課題 1 来館者数の伸び悩み

県立の博物館・美術館の来館者数の推移は次のとおりである。  
全体的に減少傾向にあり、伸び悩んでいる。



## 課題 2 施設・設備の老朽化

県立の博物館・美術館は、いずれも整備から一定の年数が経過しており、施設・設備の老朽化が進んでいる。そのため、中長期的な視点に立って、適切な時期に改修工事を行っていく必要がある。

施設名	築年数	主な工事实績	
金沢文庫	35年	令和元年度 平成30年度 平成28年度 平成27年度	空調機器等改修（展示室等） 消火設備改修 中央監視制御装置更新 空調機器等改修（収蔵庫等）
近代美術館 葉山館	21年	令和6年度 令和元～2年度 ※ PFI手法により事業者が維持管理を実施（令和14年度末まで）	改修工事 空調設備等改修
近代美術館 鎌倉別館	41年	令和2～3年度 平成30～令和元年度	空調機器等改修 改修工事（鎌倉館閉館に伴う単独館機能付与）
歴史博物館	旧館121年 新館 30年	令和6～7年度 令和元年度 平成28～29年度	エレベーター更新、照明設備改修等 消火設備改修 空調設備等改修
生命の星・ 地球博物館	30年	令和5～6年度 令和3年度 平成29年度	空調・電気設備等改修 空調等改修 外壁他改修

### 課題 3 収蔵スペースの狭隘化

県立の博物館・美術館は、数十年にわたり資料の収集・保管を継続してきている。県民の財産である、これらの資料を将来にわたって適切に保存・管理していくための方策を検討すべき時期にきている。

令和6年度に、経験や技術的知見を持つ専門業者へ委託の上、収蔵状況について調査したところ、次の結果となった。

施設名	収蔵超過率
金沢文庫	100%超 収蔵庫はすべて既に満載
近代美術館 葉山館	
近代美術館 鎌倉別館	
歴史博物館	
生命の星・地球博物館	

